

# 平成30年度 第6回 運営会議ニュース

日 時	平成30年10月14日（日）13：30～15：30
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター（レクチャールーム）
出 席 者	11名

## 議題：各ゾーンエリアの管理について（各団体等からの報告事項）

### ●谷戸田の会

台風で倒れてしまった赤米の刈取りと「はざ掛け」を昨日行った。26日に残りの刈取りを行う。

### ●グリーントフ・谷戸山公園グループ

9月の定例自然観察会の報告等：土壌をテーマに観察等を行った。植物はほとんどが菌と共生している。湿生生態園のヘラオモダカが外来種のキシウブに生育地を占拠されて絶滅しそうな状況。外来種のセイタカアワダチソウもわきみずの谷に繁茂している。⇒（会長）自家中毒を起こして一時的に減っていたのでは。わきみずの谷は他にもアメリカセンダングサが増えている。野鳥の原っぱではアレチヌスビトハギが増えている。

### ●座間のホテルを守る会

・園内のホテル観察での混雑時対応案について：今年の観察会でわきみずの谷の木道から転落した人がいた。来年に向けて、仮設も含め木道の拡幅や蓮型デッキの切れ込みの補充をお願いしたい。来園者が使うLED電灯等の光がまぶしいため、園路沿いに寒冷紗を張ることや、つまずき防止で木道の段差に蓄光テープを貼ることもお願いしたい。⇒（土木、公園）恒久的な施設改修も含め検討する。

・わきみずの谷の源流部（北奥谷戸）に向かって水路のミゾソバやヨシなどの草刈りを行っている。

### ●谷戸山自然ボランティア

・わきみずの谷のクサレダマ保護区域で今年2～3回目のセイタカアワダチソウの抜き取りを行った。また、区域内に生えたコガマ2本を湿生生態園の以前生えていた場所に目立たないように移植した。

・里山体験館と田んぼの間の水路周辺の手入れを来週行う。ワレモコウの生育が良くないので株分けして移植したい。⇒（グリーントフ）自然に増えるのを待つか、競合するイヌクイモやヤブガラシの刈り取りを優先すべきでは。⇒（写楽会）その周辺のツルニンジン今年2輪咲いたが、夏の暑さの影響か、その後枯れてしまった。

・野鳥情報：オシドリ、コガモ、カルガモ、カケス、コサメビタキ、ノスリ。カモが増えてきている。

### ●写楽会

・写楽会作品展の来場者数は昨年の75%の1,260人であった。台風の影響等があり、過去で一番少ない数であった。以前にも報告したアオサギとネコとノスリの様子をとらえた出展写真が好評だった。

### ●厚木土木事務所東部センター（土木）

・公園管理事務所によりナラ枯れの木が発見された。ナラ枯れはカシノナガクイムシが媒介し、木の根元付近に多数の穴を開けて大量の木くずが出て、3割が枯れてしまう。里山で太くなり過ぎたクヌギやコナラなどに被害が多い。当該虫は越冬して5月頃に他の木に移動するため、粘着シートや薬剤での防除、または伐採など対策を検討中。他にも木くずが出ている木が発見された場合は報告してほしい。

・ログハウスと昆虫の森のエリアにおいて危険度が高い樹木30本程度の伐採を行うため、今月中に対象木に目印を付ける作業を行う。

・東口トイレで年明けから年度内にかけて便器の洋式化等の工事を行うため使用できなくなる。また、多目的広場、パークセンター、シラカシ観察林、三峰神社の各周辺の木製階段の擬木化工事を行う。

### ●公園管理事務所（公園）

・台風24号で枝折れ等が発生し、直営作業の他に業者委託で10本を処理した。現在も危険箇所2カ所を通行止めになっている。

・東口と北口のトイレで便器を詰まらせる悪戯が続き、15日から東口トイレを一部施錠している。

・今月の里山保全隊は、公園まつりで使う竹や針葉樹の間伐材の調達を兼ねて、伝説の丘やログハウス

東側の樹林地の手入れを行う。

・9月17日の「水の生き物みつけ」は15名の参加があり、アメリカザリガニ約150匹、ギンブナ、メダカ、モツゴ、スジエビ等を捕獲し、ウシガエルのおたまじゃくしやカメは捕獲されなかった。

次回開催日時	11月11日（日）13：30～15：00、15：00～開園25周年の座談会を行う
--------	--

※運営会議後の進捗状況や最新情報も必要に応じて記載しています。

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。